

静岡県月例経済報告

(平成30年3月号)

……平成30年1月を中心とした県内経済のすがた……

No. 503

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・ 需要面	4
・ 生産面	12
・ 雇用面	14
・ その他	17
III 静岡県主要産業の動向	21
IV データからみた県内主要産業	24

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔本稿は、平成30年1月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

概況

平成30年1月を中心とした静岡県の景気は、回復しつつある。

先行きについては、意欲的な設備投資計画などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産の回復状況と海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・設備投資は、増加の動きがみられる。
- ・輸出は、増加している。
- ・生産は、持ち直しつつある。

需要面

◎個人消費は、緩やかに持ち直している。

大型小売店販売額(1月)は、百貨店が3か月ぶり、スーパーが9か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも、2か月ぶりに前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(1月)は、ホームセンターが3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、家電大型専門店、コンビニエンスストアがいずれも3か月連続、ドラッグストアが11か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも11か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(1月)は、乗用車が4か月連続で前年実績を下回ったものの、軽自動車が11か月連続で前年実績を上回ったことから、総数でも4か月ぶりに前年実績を上回った。

◎住宅建設は、前年を上回った。

新設住宅着工戸数(1月)は、持家が7か月ぶり、貸家が3か月ぶり、分譲住宅が2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも7か月ぶりに前年実績を上回った。

◎公共投資は、前年を下回った。

公共工事請負金額(1月)は、3か月連続で前年実績を下回った。

◎設備投資は、増加の動きがみられる。

日銀短観(平成29年12月15日)の平成29年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業のいずれも増加の計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業のいずれも増加の計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(1月)は、2か月ぶりに前年実績を下回った。

◎輸出は、増加している。

輸入は、前年を上回った。

輸出総額（1月）は、エアコンが3か月連続、自動車は15か月ぶり、自動車の部分品が9か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機が2か月連続、二輪自動車類が13か月連続、科学光学機器が8か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも15か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（1月）は、原動機が前年実績を下回ったものの、自動車の部分品やパルプなどで前年実績を上回ったことから、総額でも11か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、676億円の輸出超過となった。

生産面

◎生産は、持ち直しつつある。

鉱工業生産指数（12月）は、はん用・生産用・業務用機械、電気機械がいずれも2か月連続で前年水準を下回ったものの、輸送機械が13か月連続、化学が12か月連続、パルプ・紙・紙加工品が2か月連続、食料品・たばこが4か月ぶりに前年水準を上回ったことから、総合でも12か月連続で前年水準を上回った。また、2か月ぶりに前月を上回った。

なお、鉱工業在庫指数（12月）は、総合では3か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率（1月）は1.61倍で、前月と同水準だった。また、48か月連続で1倍を上回った。なお、11か月連続で全国値を上回った。

雇用保険受給者実人員（1月）は、54か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（12月）は、11か月ぶりに前年実績を下回った。

その他

◎金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った。

県内金融機関の貸出残高（1月）は、前年同月比1.3%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（1月）は、前年同月比3.0%減と前年実績を下回った。

◎企業倒産は、件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回った。

企業倒産（2月）は、件数は22件（前年同月比22.2%増）と、前年実績を上回り、負債総額は、26億8,800万円（同65.4%減）と、前年実績を下回った。

<<県の取組>> 「平成30年度当初予算の概要」

富国有徳の美しい“ふじのくに”づくり ～ “世界の静岡”のスタートダッシュ ～

平成30年度は、静岡県の新ビジョンをスタートダッシュで一気呵成に展開し、富国有徳の美しい“ふじのくに”づくりを本格始動させるため、「富をつくる産業の展開」など8つの政策を着実に実行します。

<予算の規模>

一般会計 1兆1,872億円 (対前年度当初比 △1.5%)

◎ 歳出の状況

- 義務的経費は、0.9%増の6,111億33百万円 (+52億80百万円)
 - ・扶助費 (+57億73百万円) : 子ども・子育て支援給付費負担金の増 (+22億68百万円)
: 児童入所措置費の増 (+15億23百万円)
- 税収関連法定経費は、8.1%減の1,940億60百万円 (△170億75百万円)
 - ・個人県民税所得割交付金 (△245億6百万円) : 政令市への税源移譲の影響等による減
 - ・地方消費税関連 (+52億36百万円) : 税収増に伴う清算金支出及び市町交付金の増
- 投資的経費は、2.9%増の1,741億13百万円 (+48億44百万円)
 - ・公共・直轄 (+55億3百万円) : 家畜飼養管理施設等の整備への支援 (+34億67百万円)
: 小笠山総合運動公園のラグビーワールドカップに向けた改修等 (+8億3百万円)
 - ・単 独 (△17億34百万円) : 富士山世界遺産センター整備の完了 (△25億61百万円)
- その他の経費は、5.3%減の2,078億94百万円 (△116億49百万円)
 - ・積立金 (△57億23百万円) : 国民健康保険財政安定化基金への積立金の減 (△57億円)
 - ・貸付金 (△37億8百万円) : 県立病院機構への貸付金の減 (△37億16百万円)

◎ 歳入の状況

- 県税は、0.2%増の4,830億円 (+10億円) ※政令市への税源移譲影響除き (+260億円)
 - ・法人2税の増 : 輸出関連業種を中心とした企業収益の改善 (+159億88百万円)
 - ・個人県民税の減 : 政令市への税源移譲の影響等 (△215億62百万円)
 - ・その他税目の増 : 自動車税、自動車取得税、軽油引取税の増等 (+44億83百万円)
- 国庫支出金は、3.1%減の1,147億11百万円 (△36億94百万円)
 - ・国民健康保険財政安定化基金積立金の減 (△57億円)
- 繰入金は、48.8%減の336億79百万円 (△321億9百万円)
 - ・県債管理基金繰入金の減 (△238億円)
- 県債 (臨時財政対策債を除く) は、3.0%増の715億9百万円 (+21億15百万円)
 - ・消防防災ヘリコプターの更新 (+25億92百万円)

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

1 月 = 36,380百万円

*前年同月比： 0.9%減

(県内3百貨店、133スーパー合計)

<概況>

1月の大型小売店販売額は36,380百万円で、前年同月比0.9%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店(前年同月比2.4%減)が3か月ぶり、スーパー(同0.6%減)が9か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

商品別では、衣料品(前年同月比5.0%減)、身の回り品(同1.6%減)がいずれも2か月ぶり、飲食料品(同0.2%減)が7か月連続、家庭用品(同1.9%減)が4か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.1%増と、2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
販売額(百万円)	33,274	35,877	33,985	31,500	33,613	34,063	42,544	36,380
前年同月比(%)	0.1	▲0.4	▲1.4	▲0.8	▲2.3	▲1.5	0.1	▲0.9
うち百貨店(%)	2.5	▲1.7	▲0.6	6.0	▲4.4	0.9	0.8	▲2.4
スーパー(%)	▲0.5	▲0.1	▲1.6	▲2.3	▲1.8	▲2.2	▲0.1	▲0.6
(参考1)全国前年同月比(%)	0.2	▲0.2	0.6	1.9	▲0.7	1.4	1.1	0.5
うち百貨店(%)	1.5	▲1.3	2.1	4.2	▲0.5	3.6	0.8	▲0.1
スーパー(%)	▲0.4	0.4	0.1	0.8	▲0.9	0.2	1.3	0.7
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲0.2	0.5	0.2	0.5	▲1.1	▲0.6	1.3	0.1

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
衣料品	▲3.3	▲1.9	▲5.3	1.7	▲3.8	▲4.6	0.7	▲5.0
うち紳士服・洋品	▲4.6	▲1.4	▲8.0	3.8	▲1.6	▲4.6	2.0	▲2.7
婦人・子供服・洋品	▲2.2	▲2.7	▲3.6	1.6	▲4.4	▲4.0	0.6	▲6.1
身の回り品	0.3	▲0.2	▲3.6	6.2	▲3.3	▲3.5	0.0	▲1.6
飲食料品	0.3	▲0.7	▲1.3	▲2.5	▲2.1	▲1.6	▲0.1	▲0.2
家庭用品	▲2.6	▲1.9	▲3.3	1.4	▲4.0	▲4.6	▲5.1	▲1.9
うち家庭用電気機械器具	▲10.5	▲2.5	▲12.1	▲5.4	▲10.4	▲6.2	▲14.7	▲10.1

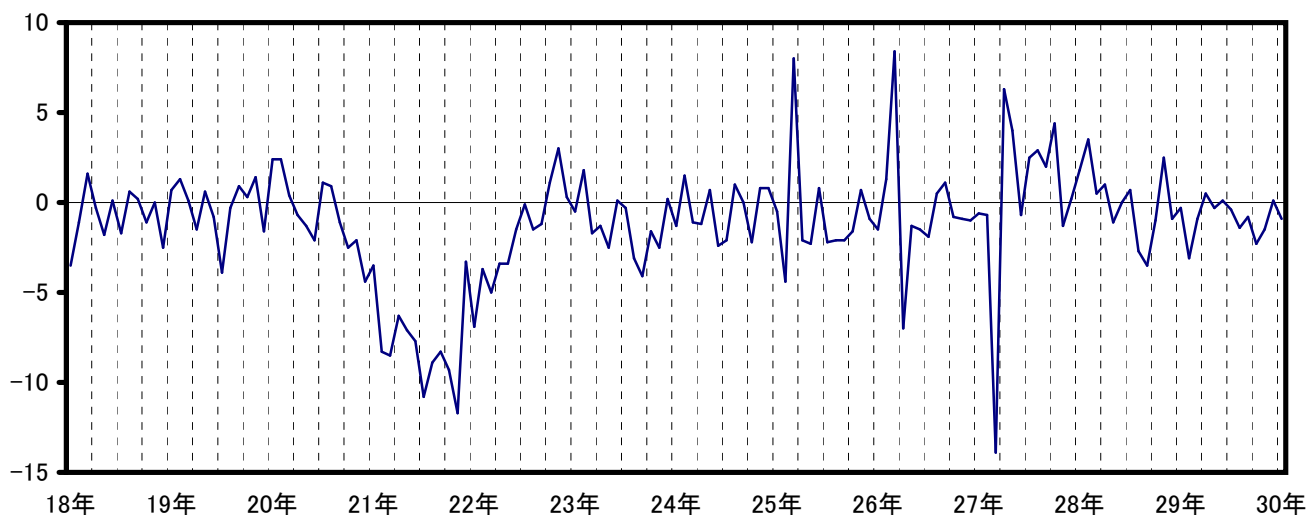
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

1 月 = 64,875百万円

*前年同月比： 2.4%増

(県内94家電大型専門店、1,729コンビニエンスストア、465ドラッグストア、102ホームセンター合計)

<概況>

1月の専門量販店等販売額は64,875百万円で、前年同月比 2.4%増となり、11か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、ホームセンター（前年同月比 2.2%減）が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、家電大型専門店（同 5.0%増）、コンビニエンスストア（同 0.5%増）がいずれも3か月連続、ドラッグストア（同 5.9%増）が11か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
販売額（百万円）	64,855	74,952	70,918	63,700	64,401	64,592	76,204	64,875
前年同月比（%）	2.1	3.6	2.7	3.5	0.1	2.9	3.4	2.4
うち 家電大型専門店（%）	▲ 3.4	6.4	4.6	0.7	▲ 2.4	5.2	7.3	5.0
コンビニエンスストア（%）	2.4	2.8	2.0	1.4	▲ 0.6	0.3	0.5	0.5
ドラッグストア（%）	5.6	5.2	4.8	8.5	5.7	6.6	6.5	5.9
ホームセンター（%）	▲ 1.6	0.1	▲ 1.0	2.7	▲ 7.5	0.9	1.2	▲ 2.2
(参考)全国前年同月比（%）	2.4	4.7	3.3	3.5	0.9	3.6	3.8	2.9

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

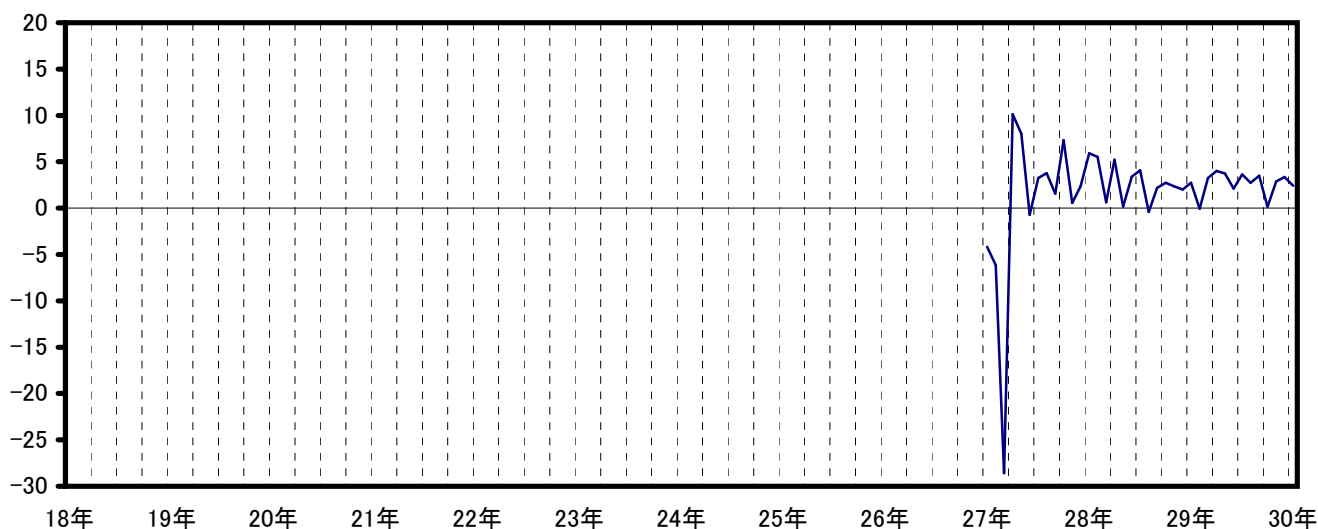
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省



(3) 自動車(新車)新規登録台数

1月 = 15,357 台

*前年同月比： 3.0%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

1月の自動車(新車)新規登録台数は15,357台(前年同月比 3.0%増)となり、4か月ぶりに前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 6.7%減)が4か月連続で前年実績を下回ったものの、軽自動車(同 16.6%増)が11か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
登録台数(台)	16,106	14,281	11,788	17,157	12,382	13,434	13,048	15,357
前年同月比(%)	13.4	4.8	5.8	5.0	▲ 1.0	▲ 1.5	▲ 3.7	3.0
(参考)全国前年同月比(%)	15.1	2.6	4.1	5.3	▲ 1.2	▲ 2.7	▲ 0.8	▲ 1.1

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

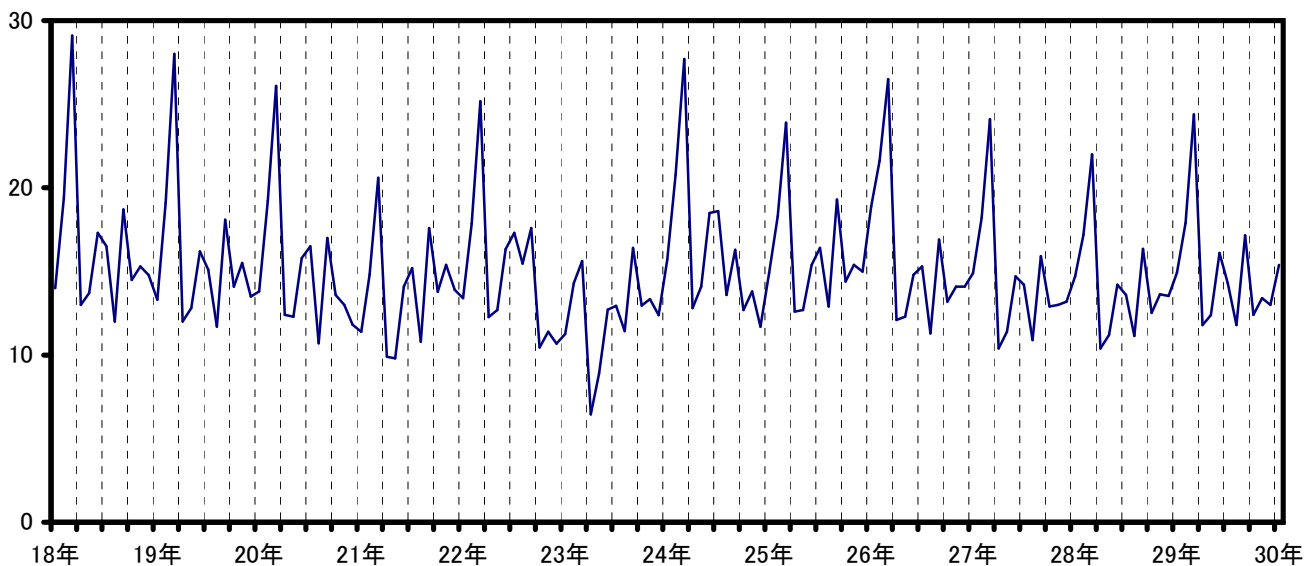
	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
全乗用車	13.4	4.8	5.8	5.0	▲ 1.0	▲ 1.5	▲ 3.7	3.0
乗用車	14.7	1.7	8.6	5.1	▲ 7.4	▲ 4.3	▲ 6.5	▲ 6.7
軽自動車	11.5	9.2	2.2	4.9	7.5	2.4	0.4	16.6

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

1月 = 2,369 戸

*前年同月比： 44.0%増

<概況>

1月の新設住宅着工戸数は2,369戸で、前年同月比 44.0%増となり、7か月ぶりに前年実績を上回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 21.2%増）が7か月ぶり、貸家（同 34.5%増）が3か月ぶり、分譲住宅（同 124.9%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

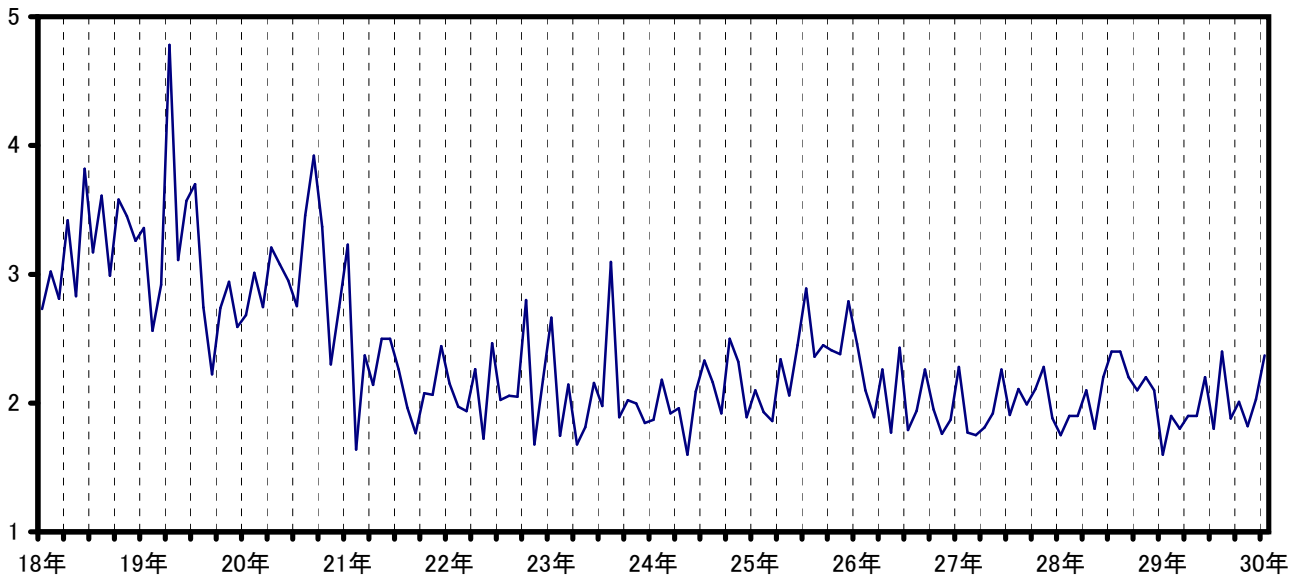
	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
戸数 (戸)	2,208	1,838	2,387	1,878	2,012	1,820	2,032	2,369
前年同月比 (%)	0.6	▲ 22.0	▲ 0.7	▲ 13.8	▲ 3.5	▲ 17.8	▲ 2.0	44.0
うち持家 (%)	8.0	▲ 17.4	▲ 9.9	▲ 7.7	▲ 5.3	▲ 12.0	▲ 0.9	21.2
貸家 (%)	8.5	▲ 36.1	22.5	▲ 31.3	7.9	▲ 35.4	▲ 0.4	34.5
分譲住宅 (%)	▲ 17.9	▲ 9.3	▲ 17.5	0.0	▲ 15.9	11.2	▲ 8.8	124.9
(参考)全国前年同月比 (%)	1.7	▲ 2.3	▲ 2.0	▲ 2.9	▲ 4.8	▲ 0.4	▲ 2.1	▲ 13.2

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

1 月 = 9,580百万円

*前年同月比： 8.4%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

1月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は9,580百万円で、前年同月比8.4%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は369件で、前年同月比15.0%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
金額(百万円)	32,699	27,049	24,287	45,692	21,188	13,967	13,064	9,580
前年同月比(%)	43.8	▲3.4	▲17.7	▲9.3	9.8	▲1.7	▲21.4	▲8.4
年度累計前年同月比(%)	16.9	12.2	6.3	2.4	3.0	2.7	1.1	0.7
件数(件)	721	745	792	1,371	729	667	694	369
前年同月比(%)	14.3	▲8.9	▲10.5	▲5.1	11.0	1.5	▲10.1	▲15.0
年度累計前年同月比(%)	12.1	4.7	0.5	▲1.3	0.2	0.4	▲0.8	▲1.7

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位:%)

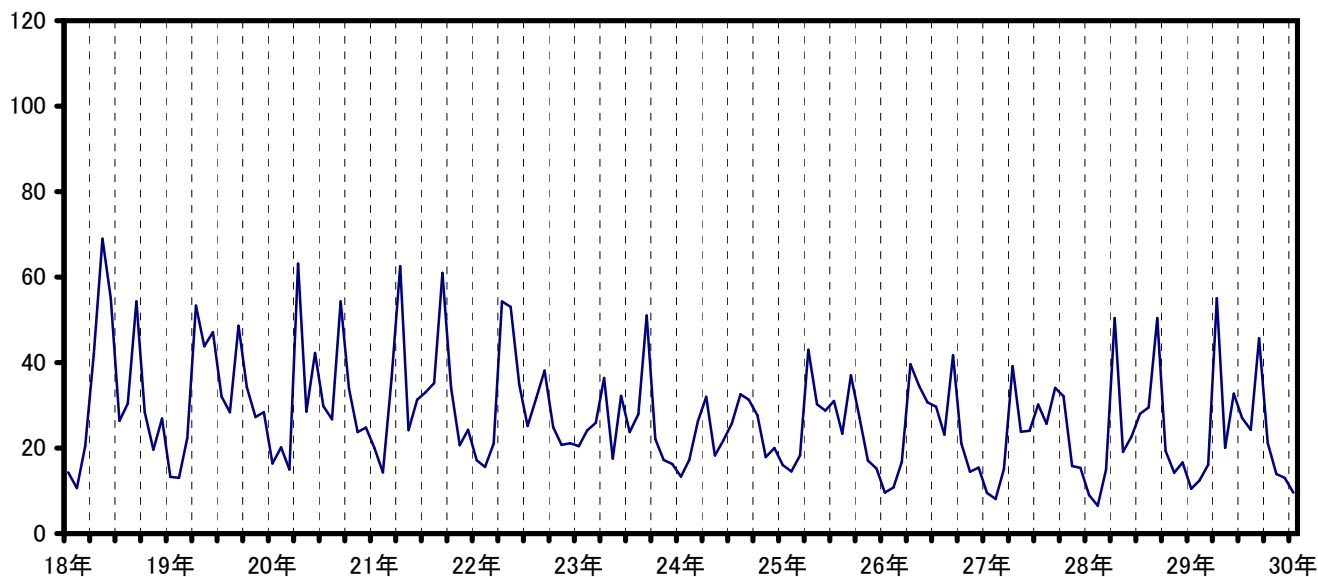
	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
国	135.1	▲3.0	▲40.7	3.6	107.7	108.8	▲99.1	▲63.5
独立行政法人等	98.0	▲92.5	5,289.9	▲49.2	▲33.9	▲59.0	113.4	77.7
県	▲7.3	▲17.2	▲18.2	3.3	▲35.0	▲24.9	▲6.3	67.2
市町	38.0	▲0.6	▲17.8	▲18.9	28.9	11.3	▲21.2	▲27.7
地方公社	—	707.1	39.3	586.3	▲90.9	21.0	▲80.9	—
その他	17.9	46.2	▲47.0	153.8	316.9	▲45.7	▲81.8	▲63.2

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成28年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業で増加、非製造業、全産業では減少した。ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業のいずれも減少した。

平成29年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 22.4%増）、非製造業（同 2.5%増）、全産業（同 13.3%増）のいずれも増加の計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 16.3%増）、非製造業（同 3.0%増）、全産業（同 12.9%増）のいずれも増加の計画となっている。

1月の着工建築物床面積（非居住用）は86,688㎡で、前年同月比 43.9%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		28年度 (実績)	29年度 (計画)
全産業	県	▲0.5	(▲0.9) 13.3
	全国	0.4	(1.6) 6.3
製造業	県	0.1	(▲1.8) 22.4
	全国	2.6	(▲1.5) 10.1
非製造業	県	▲1.2	(0.5) 2.5
	全国	▲0.7	(3.5) 4.3

（ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		28年度 (実績)	29年度 (計画)
全産業	県	▲0.6	(▲1.5) 12.9
	全国	0.3	(0.8) 7.5
製造業	県	▲0.4	(▲1.9) 16.3
	全国	0.6	(▲0.7) 7.4
非製造業	県	▲1.3	(▲0.2) 3.0
	全国	0.0	(2.4) 7.7

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成29年12月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成29年12月調査)」

<最近の動き>

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	176,342	117,369	131,182	82,379	117,588	96,613	109,021	86,688
前年同月比（%）	77.4	8.3	▲29.5	▲51.9	50.8	▲32.1	1.0	▲43.9
(参考) 全国前年同月比（%）	2.7	18.0	▲3.3	6.9	16.2	6.3	▲10.8	▲6.8

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		29年9月	29年12月	30年3月 (予測)
全産業		16	18	10
	製造業	18	22	13
	非製造業	14	15	8
(参考) 全国・全産業		15	16	11

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成29年12月調査)」

5 輸出

1月 = 157,315百万円

*前年同月比： 5.4%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

1月の清水税関支署管内の輸出総額は157,315百万円で、前年同月比 5.4%増となり、15か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、エアコン（前年同月比 23.7%減）が3か月連続、自動車（同 1.0%減）が15か月ぶり、自動車の部分品（同 14.2%減）が9か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 10.8%増）が2か月連続、二輪自動車類（同 6.9%増）が13か月連続、科学光学機器（同 20.1%増）が8か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、米国向け（前年同月比 1.9%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、アジア向け（同 10.6%増）が15か月連続、EU向け（同 4.3%増）が13か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
輸出総額(百万円)	174,963	184,814	171,427	176,070	185,728	178,892	199,182	157,315
前年同月比(%)	12.1	15.0	18.2	7.2	17.9	9.5	5.4	5.4

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
原動機	2.1	▲ 0.4	5.8	9.5	7.2	▲ 2.6	3.2	10.8
エアコン	7.4	▲ 1.3	▲ 12.6	28.7	32.0	▲ 0.5	▲ 2.3	▲ 23.7
自動車	83.6	230.6	308.4	1.6	148.3	138.9	16.4	▲ 1.0
自動車の部分品	▲ 2.6	▲ 13.1	▲ 0.3	▲ 17.4	▲ 11.2	▲ 15.8	▲ 18.2	▲ 14.2
二輪自動車類	18.9	18.6	28.4	32.7	24.0	10.2	10.6	6.9
科学光学機器	0.4	22.5	53.8	45.3	38.2	30.7	51.8	20.1

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
アジア	8.1	15.4	23.0	7.4	18.9	7.3	6.4	10.6
米国	0.0	▲ 4.1	▲ 0.9	5.3	▲ 11.2	0.2	▲ 7.0	▲ 1.9
EU	48.6	42.9	41.8	8.7	54.9	23.4	20.9	4.3

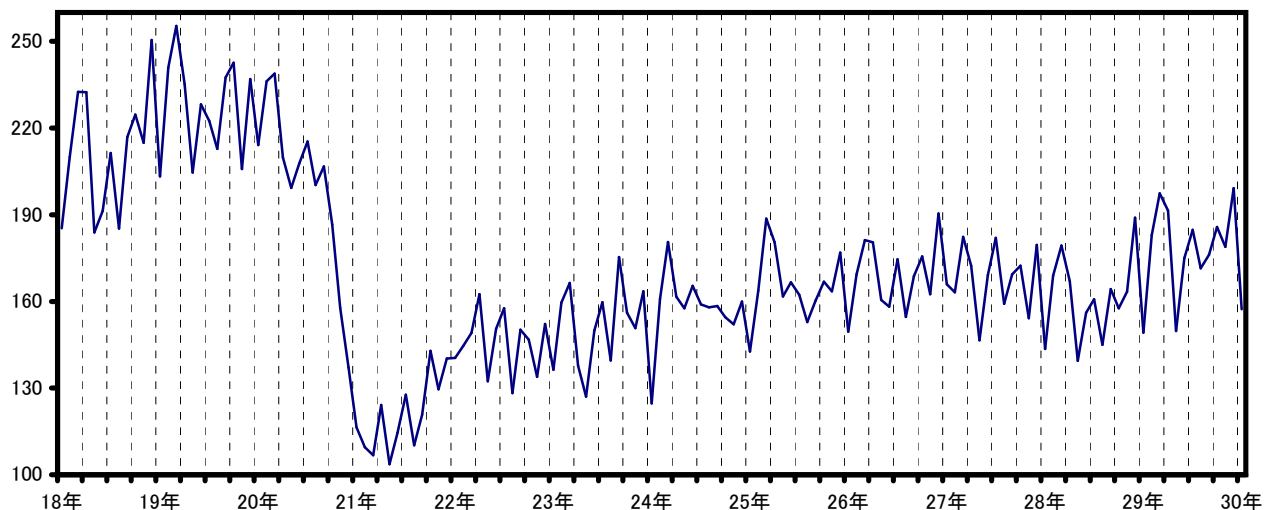
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

1 月 = 89,764百万円

*前年同月比： 6.2%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

1月の清水税関支署管内の輸入総額は89,764百万円で、前年同月比 6.2%増となり、11か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 40.2%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、木材（同 3.8%増）、紙類及び同製品（同 2.5%増）がいずれも2か月ぶり、パルプ（同 18.2%増）が3か月連続、自動車の部分品（同 1.0%増）が3か月ぶりに前年実績を上回った。魚介類及び同調製品（同 26.2%増）は前年実績を上回った。

地域別では、アジアから（前年同月比 0.9%増）が11か月連続、米国から（同 13.1%増）が2か月ぶり、EUから（同 42.3%増）が12か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
輸入総額(百万円)	83,549	82,170	85,388	83,653	73,320	89,567	89,169	89,764
前年同月比(%)	17.9	21.8	13.4	13.8	3.8	9.6	15.5	6.2

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
魚介類及び同調製品	—	—	—	—	—	—	—	26.2
木 材	13.7	▲ 7.7	9.8	34.2	30.1	64.8	▲ 3.3	3.8
パ ル プ	5.5	39.0	37.6	50.8	▲ 4.9	75.7	46.4	18.2
紙 類 及 び 同 製 品	▲ 36.5	16.6	13.2	▲ 9.8	4.3	33.1	▲ 24.2	2.5
原 動 機	▲ 37.6	▲ 29.6	▲ 68.9	▲ 9.6	▲ 8.6	▲ 29.1	1.6	▲ 40.2
自 動 車 の 部 分 品	12.1	24.1	21.3	▲ 0.4	15.8	▲ 4.6	▲ 26.9	1.0

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

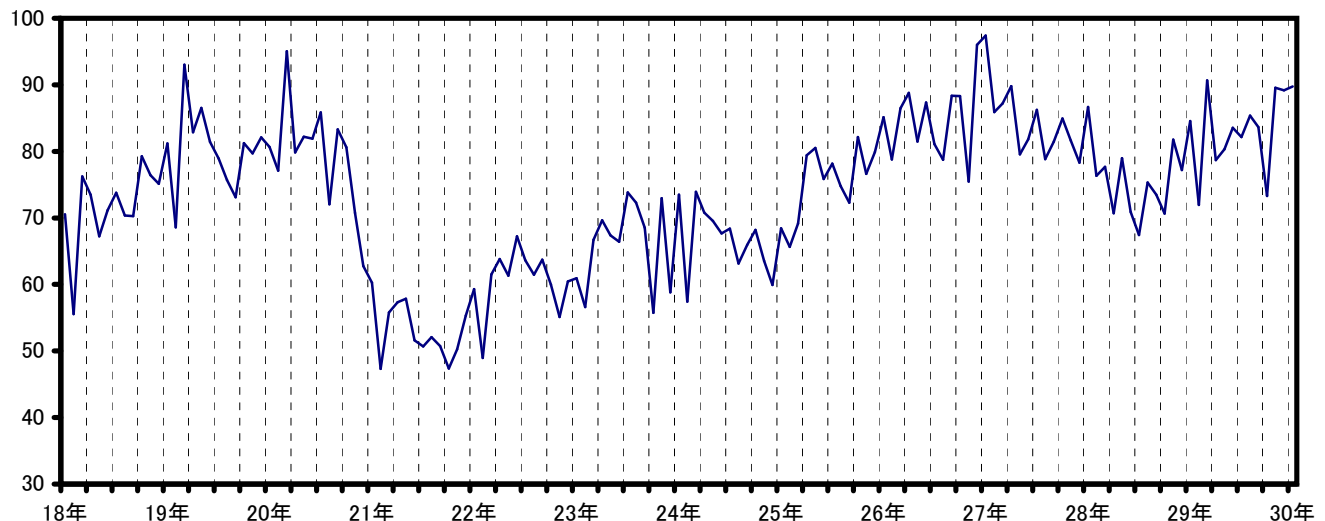
	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
ア ジ ア	23.8	15.5	1.6	22.2	1.2	12.0	11.7	0.9
米 国	▲ 9.7	35.8	▲ 4.9	21.4	▲ 1.0	9.1	▲ 2.6	13.1
E U	31.1	17.7	30.7	21.5	24.5	5.9	22.3	42.3

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

12月 = 95.7

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 3.3%増

*前年同月比(原指数) : 3.2%増

<概況>

12月の鉱工業生産指数(総合)は95.7(季節調整済指数)で、前月比3.3%増となり、2か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は3.2%増と12か月連続で前年水準を上回った。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比1.8%減)、電気機械(同1.4%減)がいずれも2か月連続で前年水準を下回ったものの、輸送機械(同6.1%増)が13か月連続、化学(同8.0%増)が12か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同1.8%増)が2か月連続、食料品・たばこ(同0.4%増)が4か月ぶりに前年水準を上回った。

<最近の動き>

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
指数	91.4	92.2	91.3	94.1	93.2	96.3	92.6	95.7
前月比(%)	▲3.6	0.9	▲1.0	3.1	▲1.0	3.3	▲3.8	3.3
前年同月比(%)	4.8	3.7	3.0	4.0	2.3	9.6	2.8	3.2
(参考)全国前年同月比(%)	6.8	4.9	4.7	5.4	2.5	5.9	3.7	4.2

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
はん用・生産用・業務用機械工業	4.6	▲7.8	▲3.7	▲6.8	▲4.7	19.5	▲1.6	▲1.8
電気機械工業	6.8	3.7	4.1	9.3	3.9	5.5	▲3.9	▲1.4
輸送機械工業	7.7	14.8	3.7	10.0	11.4	20.2	10.6	6.1
化学工業	11.9	4.3	7.0	2.3	1.3	10.0	6.4	8.0
パルプ・紙・紙加工品工業	3.4	▲0.2	▲2.7	▲0.4	▲1.9	▲1.5	1.5	1.8
食料品・たばこ工業	▲5.2	▲3.2	0.8	0.9	▲6.3	▲3.4	▲8.4	0.4

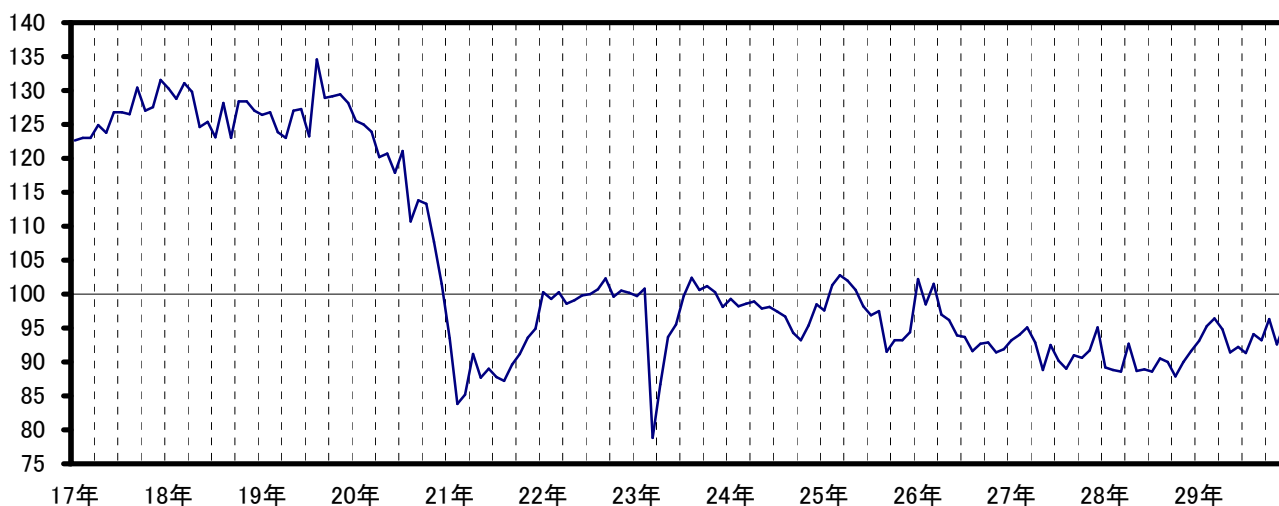
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

12月 = 115.5

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.9%増

*前年同月比(原指数) : 8.9%増

<概況>

12月の鋳工業在庫指数(総合)は115.5(季節調整済指数)で、前月比は0.9%増と2か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は8.9%増と3か月連続で前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「在庫積み上がり局面(景気後退初期)」に該当する。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比0.2%減)が2か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同4.1%減)が6か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械(同22.1%増)が5か月連続、輸送機械(同36.6%増)が3か月連続、化学(同24.3%増)が7か月連続、食料品・たばこ(同7.7%増)が2か月ぶりに前年水準を上回った。

<最近の動き>

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
指数	114.2	118.2	113.4	113.3	111.2	116.6	114.5	115.5
前月比(%)	▲2.1	3.5	▲4.1	▲0.1	▲1.9	4.9	▲1.8	0.9
前年同月比(%)	▲0.6	3.6	▲0.5	▲1.0	▲0.8	5.3	4.9	8.9
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.2	▲3.1	▲2.4	▲3.0	▲2.4	1.9	2.8	2.0

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
はん用・生産用・業務用機械工業	3.0	7.2	1.6	0.2	4.7	3.9	▲8.9	▲0.2
電気機械工業	▲2.5	▲7.0	▲0.7	0.5	6.3	16.7	19.7	22.1
輸送機械工業	7.8	14.9	▲22.7	▲26.1	▲14.9	6.0	20.3	36.6
化学工業	▲5.4	1.5	5.9	12.4	7.3	23.9	25.4	24.3
パルプ・紙・紙加工品工業	1.0	0.6	▲2.5	▲6.0	▲6.4	▲9.7	▲6.9	▲4.1
食料品・たばこ工業	8.1	15.6	1.7	7.7	4.6	12.9	▲4.0	7.7

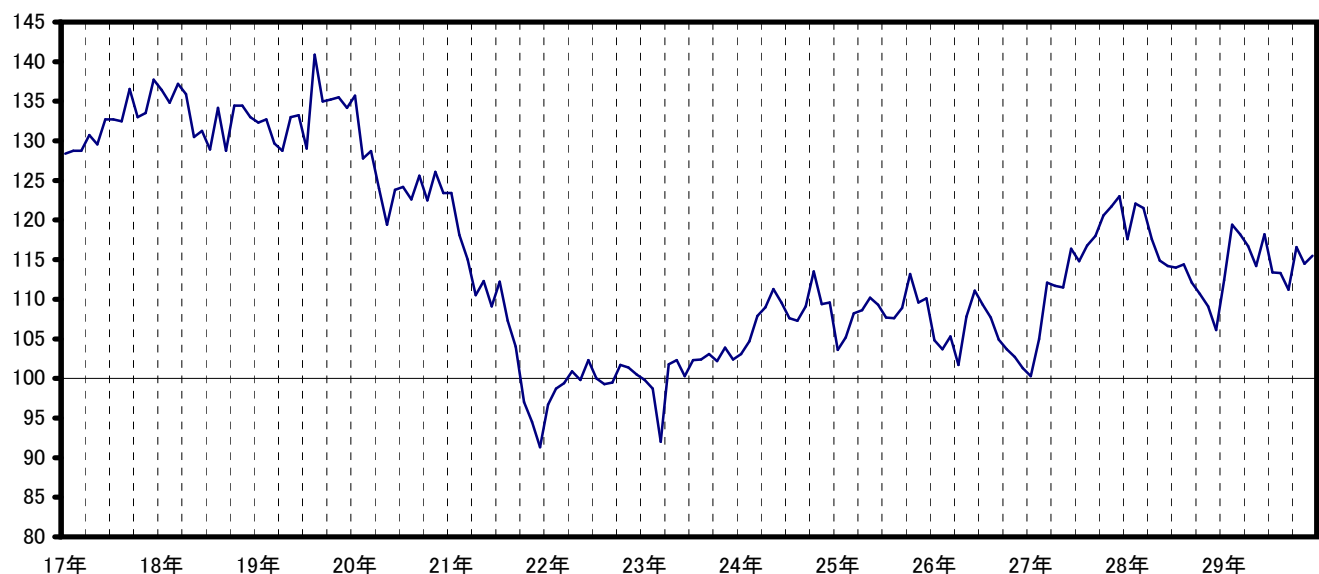
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

1 月 = 1.61倍

*前月比 (季節調整値) : 同水準

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概 況>

1月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.61倍となり、前月と同水準だった。また、11か月連続で全国値を上回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比 5.5%増)は24か月連続で前年実績を上回った。
産業別にみると、卸売業・小売業(前年同月比 1.7%減)が3か月連続で前年実績を下回ったものの、建設業(同 8.7%増)が24か月連続、製造業(同 12.3%増)が27か月連続、情報通信業(同 17.6%増)、サービス業(他に分類されないもの)(同 2.3%増)がいずれも2か月連続、運輸業・郵便業(同 3.6%増)が15か月連続、医療・福祉(同 5.2%増)が17か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
県	1.55	1.56	1.56	1.57	1.59	1.60	1.61	1.61
全 国	1.50	1.51	1.52	1.53	1.55	1.56	1.59	1.59

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
建 設 業	11.7	7.3	15.3	5.9	13.3	10.5	7.8	8.7
製 造 業	33.2	13.2	11.0	7.2	13.3	14.9	22.1	12.3
情 報 通 信 業	▲ 15.8	8.1	▲ 12.2	9.2	16.2	▲ 17.6	16.7	17.6
運 輸 業 ・ 郵 便 業	8.0	2.7	19.6	20.9	9.6	7.0	17.6	3.6
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 9.2	10.0	▲ 5.7	7.6	1.4	▲ 1.9	▲ 0.3	▲ 1.7
医 療 ・ 福 祉	14.7	0.3	15.4	22.5	2.4	11.3	15.1	5.2
サービス業(他に分類されないもの)	21.6	11.5	6.8	29.2	20.6	▲ 5.8	13.6	2.3
合 計	13.4	8.1	9.1	15.7	9.7	5.9	14.0	5.5

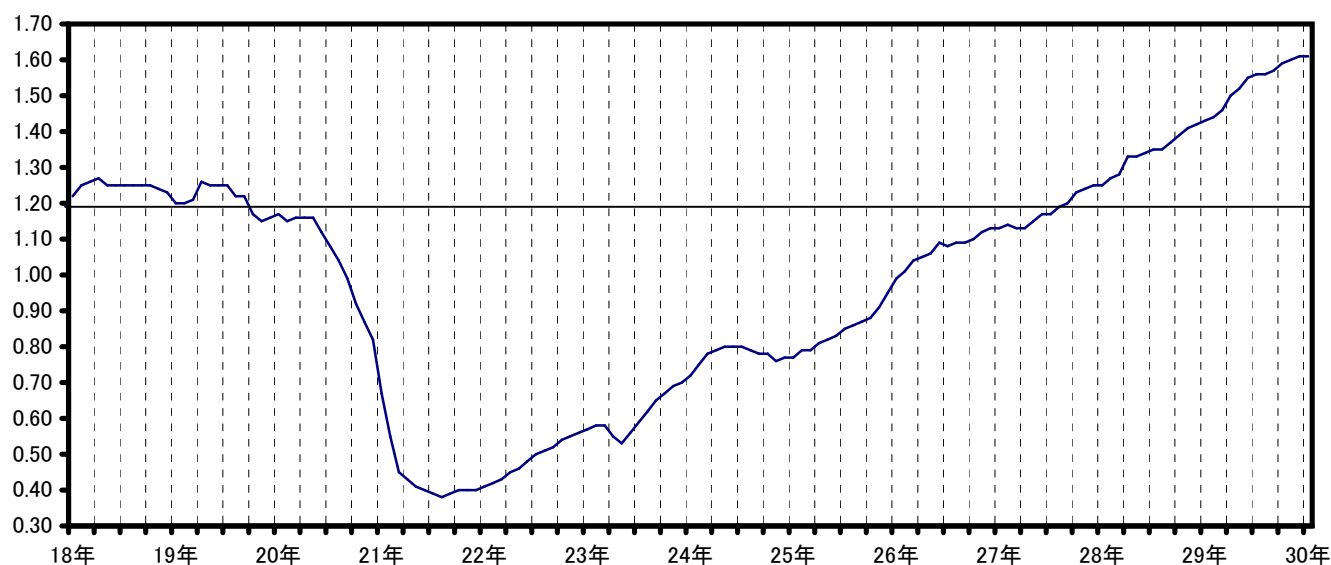
(注)学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

1月 = 10,153人

*前月比: 1.2%減

*前年同月比: 5.3%減

<概況>

1月の雇用保険受給者実人員は10,153人で、前月比は1.2%減と5か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は5.3%減と54か月連続で前年実績を下回った。

完全失業率(全国)は2.4%で、前月から0.3ポイント改善した。

静岡県(平成29年10~12月)の完全失業率は2.3%で、前期(29年7~9月)から0.1ポイント改善した。

<最近の動き>

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
実人員(人)	11,025	11,093	11,844	11,236	11,111	10,848	10,275	10,153
前月比(%)	1.2	0.6	6.8	▲5.1	▲1.1	▲2.4	▲5.3	▲1.2
前年同月比(%)	▲11.9	▲11.8	▲11.0	▲11.5	▲8.7	▲6.4	▲5.9	▲5.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲7.8	▲6.5	▲6.8	▲6.9	▲2.6	▲3.3	▲4.7	▲4.1

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
完全失業率(全国)(%)	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7	2.4

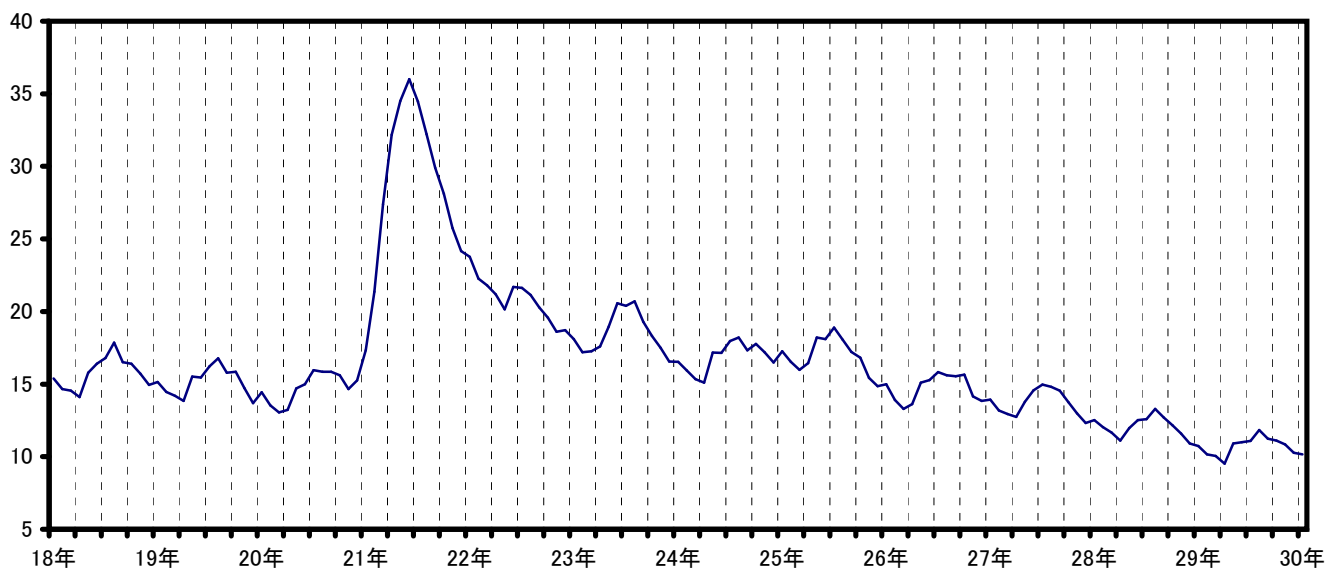
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

12月 = 98.9

*前月比(季節調整済指数): 7.4%減

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 1.3%減

<概況>

12月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は98.9(季節調整済指数)で、前月比7.4%減となった。また、前年同月比(原指数)は1.3%減と11か月ぶりに前年実績を下回った。

業種別にみると、情報通信業(前年同月比6.6%増)、医療・福祉(同11.5%増)がいずれも2か月連続、卸売業・小売業(同11.5%増)が7か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業(同1.6%減)が3か月連続、製造業(同1.2%減)が5か月ぶり、運輸業・郵便業(同11.4%減)が10か月連続、その他のサービス業(同4.7%減)が6か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
指数	104.7	105.5	103.2	100.2	106.4	105.0	106.8	98.9
前月比(%)	1.1	0.8	▲2.2	▲2.9	6.2	▲1.3	1.7	▲7.4
前年同月比(%)	0.0	1.3	0.0	2.4	4.9	2.0	6.1	▲1.3
(参考)全国前年同月比(%)	0.6	▲1.8	▲0.9	0.8	▲0.1	▲0.2	▲0.1	0.6

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
建設業	19.5	5.2	▲13.4	▲1.5	13.9	▲26.9	▲10.8	▲1.6
製造業	8.4	7.6	▲0.3	0.8	6.2	1.3	9.5	▲1.2
情報通信業	▲1.2	▲4.6	3.4	▲4.7	19.8	▲3.2	2.3	6.6
運輸業・郵便業	▲1.7	▲3.8	▲1.1	▲3.7	▲0.6	▲5.1	▲13.2	▲11.4
卸売業・小売業	▲13.5	2.6	24.8	9.8	24.0	46.9	14.8	11.5
医療・福祉	▲3.0	▲14.0	▲2.8	6.1	▲1.7	▲12.9	9.2	11.5
その他のサービス業	▲22.5	▲5.3	12.6	14.4	13.1	38.8	26.0	▲4.7
調査産業計	0.0	1.3	0.0	2.4	4.9	2.0	6.1	▲1.3

*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

(平成27年=100)

2 月 = 100.3

*前 月 比: 同水準

*前年同月比: 2.5%上昇

<概 況>

2月の国内企業物価指数は100.3となり、前月と同水準だった。また、前年同月比は2.5%の上昇となった。

<最近の動き>

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
国内企業物価指数	98.8	98.8	99.1	99.4	99.9	100.0	100.3	100.3
前 月 比 (%)	0.3	0.0	0.3	0.3	0.5	0.1	0.3	0.0
前年同月比 (%)	2.6	2.9	3.1	3.4	3.6	3.0	2.7	2.5

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

(銀行、信用金庫)

1 月 = 139,613億円

*前 月 比: 1.4%減

*前年同月比: 1.3%増

<概 況>

1月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は139,613億円で、前月比は1.4%の減少となり、前年同月比は1.3%の増加となった。

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
貸出残高(億円)	139,225	139,248	139,196	141,064	139,254	139,604	141,576	139,613
前 月 比 (%)	0.6	0.0	0.0	1.3	▲ 1.3	0.3	1.4	▲ 1.4
前年同月比 (%)	2.3	2.4	2.4	2.4	2.0	1.7	1.8	1.3

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

(県内地銀4行総平均)

1 月 = 2.106%

*前 月 差: 0.008ポイント増

*前年同月差: 0.028ポイント減

<概 況>

1月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.106%で、前月から0.008ポイントのプラスとなった。なお、前年同月差は0.028ポイントのマイナスとなった。

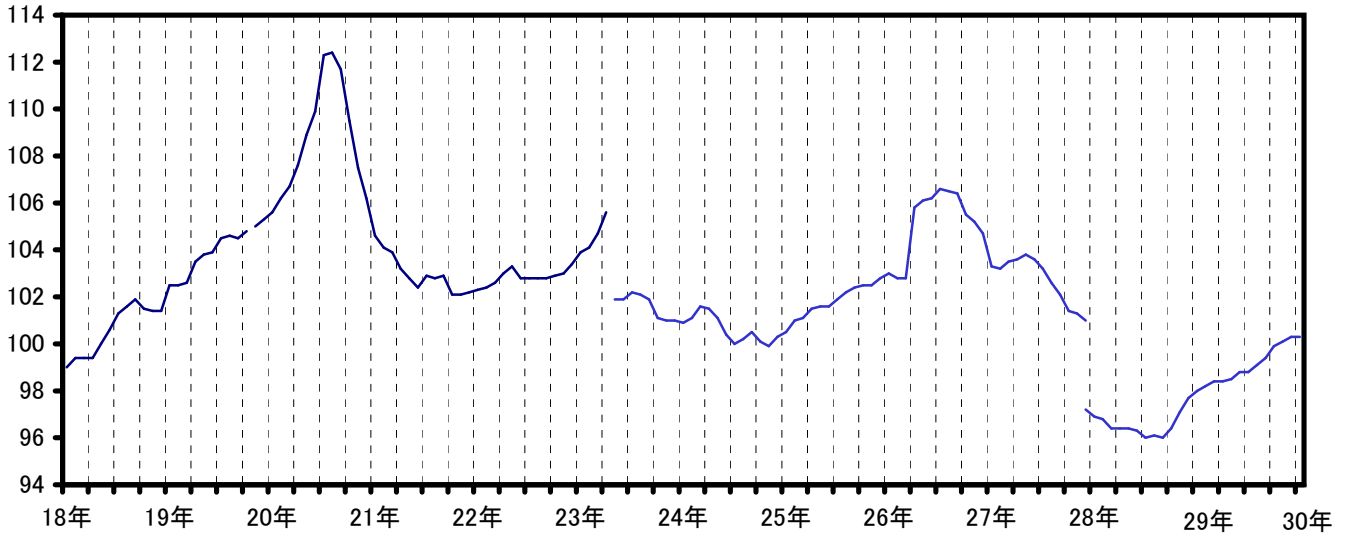
	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
貸出約定金利 (%)	2.123	2.120	2.122	2.111	2.123	2.117	2.098	2.106
前月差(ポイント)	▲ 0.008	▲ 0.003	0.002	▲ 0.011	0.012	▲ 0.006	▲ 0.019	0.008
前年同月差(ポイント)	▲ 0.030	▲ 0.035	▲ 0.032	▲ 0.033	▲ 0.029	▲ 0.029	▲ 0.026	▲ 0.028

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

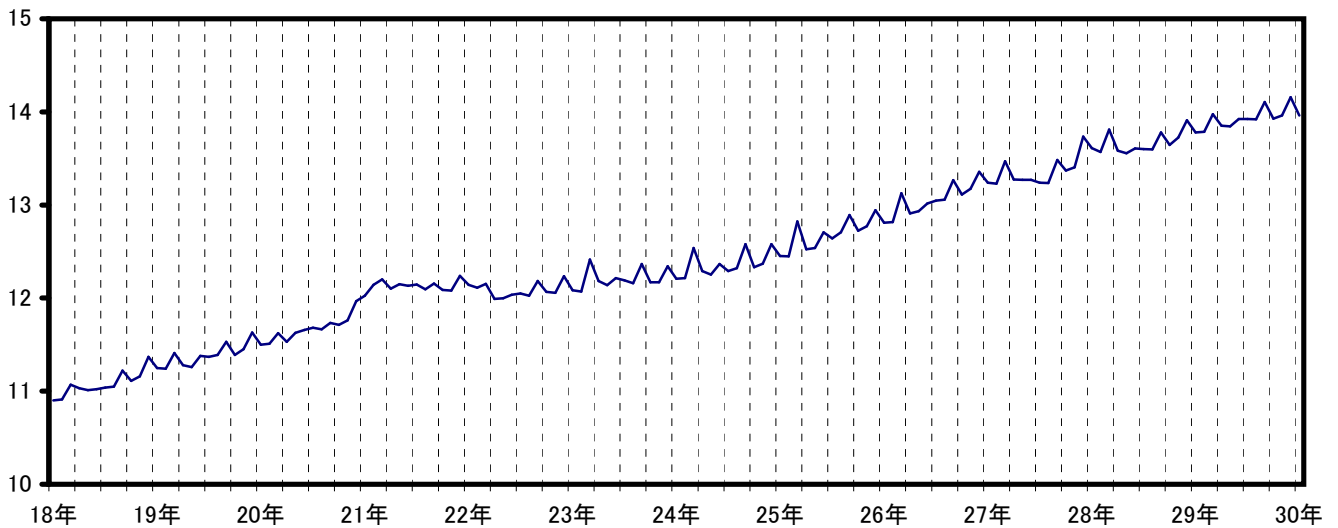
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



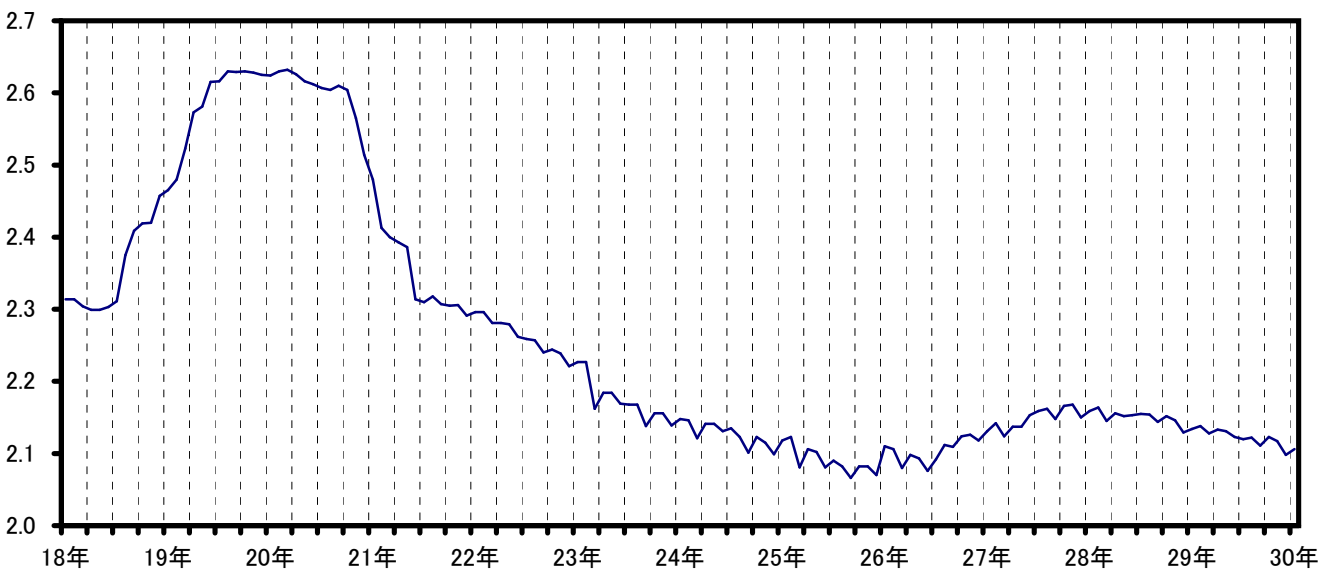
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**1月 = 13,633百万円**

*前年同月比： 3.0%減

<概況>

1月の保証承諾は、金額が13,633百万円（前年同月比 3.0%減）、件数が1,486件（同 1.2%減）と、いずれも2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
保証金額(百万円)	19,274	17,411	18,145	19,319	15,886	20,201	23,366	13,633
前年同月比(%)	▲16.7	▲15.9	▲19.6	▲17.1	▲6.8	4.7	▲4.0	▲3.0
保証件数(件)	1,985	1,738	1,933	2,009	1,635	1,930	2,317	1,486
前年同月比(%)	▲14.6	▲13.5	▲11.0	▲13.4	▲8.2	2.2	▲1.9	▲1.2

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**2月 = 107.82円/ドル**

*前月差： 2.95円高

(東京・銀行間直物中心・平均)

*前年同月差： 5.24円高

<概況>

2月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は107.82円で、前月と比べて2.95円の円高となり、2か月連続の円高となった。

<最近の動き>

	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
平均相場(円)	112.44	109.91	110.68	112.96	112.92	112.97	110.77	107.82
前月差(円)	1.53	▲2.53	0.77	2.28	▲0.04	0.05	▲2.20	▲2.95
前年同月差(円)	8.54	8.64	8.64	9.14	4.74	▲2.98	▲3.96	▲5.24

▲…円高

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****2月 = 22件**

*前年同月比： 22.2%増

<概況>

2月の負債総額1,000万円以上の企業倒産は、件数は22件（前年同月比 22.2%増）と、前年実績を上回り、負債総額は2,688百万円（同 65.4%減）と、前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が20件と全体の90.9%を占め、243か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

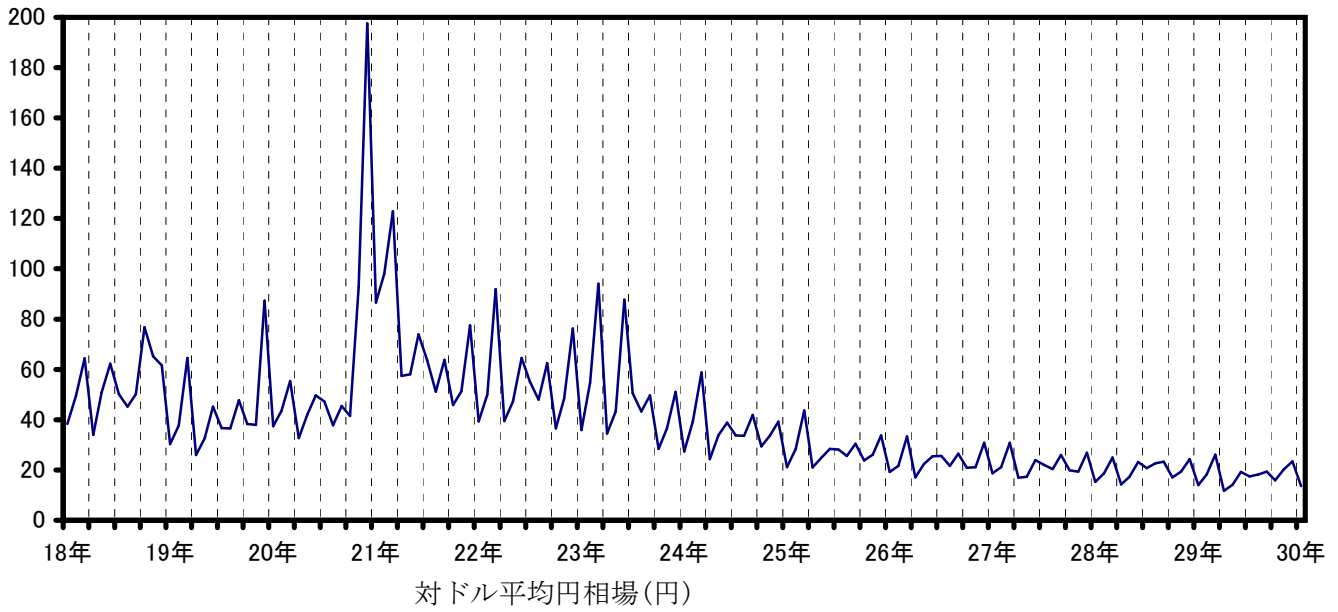
	29年7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月
倒産件数(件)	27	21	23	23	21	15	18	22
前年同月比(%)	▲25.0	10.5	4.5	76.9	10.5	▲57.1	12.5	22.2
うち不況型倒産件数(件)	24	20	22	20	21	13	17	20
負債総額(百万円)	3,157	1,679	1,558	3,542	8,404	1,255	2,369	2,688
前年同月比(%)	▲62.8	▲18.6	▲32.6	117.1	310.1	▲77.9	40.4	▲65.4

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

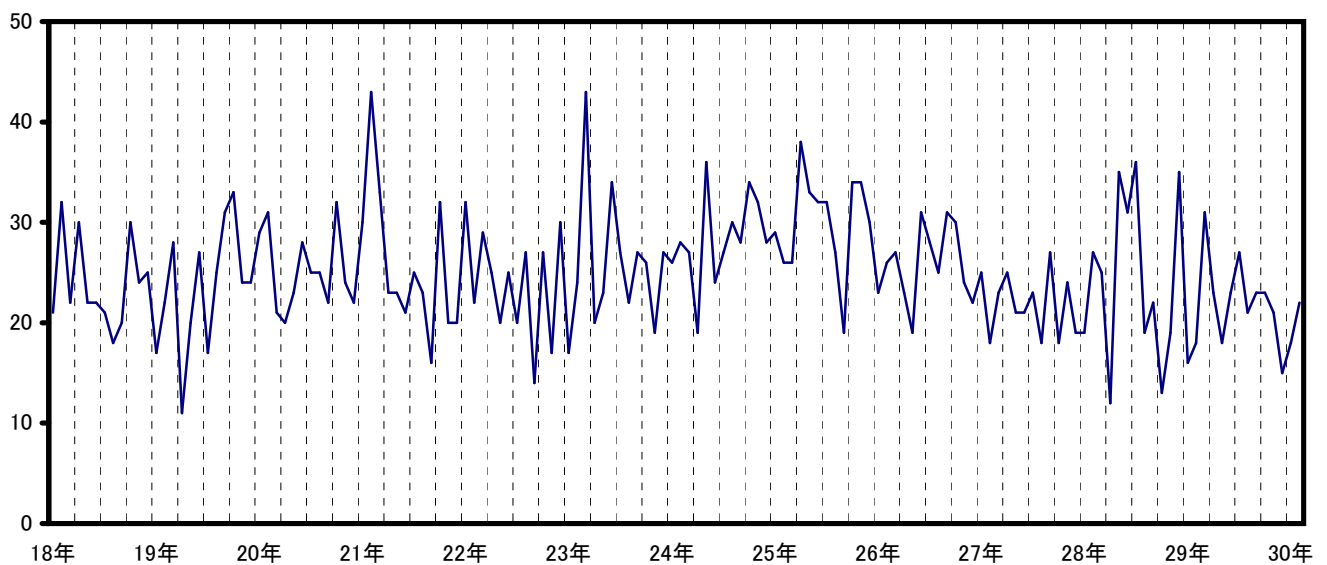
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成30年1月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>1月の国内二輪車生産台数は、53,875台（前年同月比 1.3%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、8,337台（同 28.7%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、3,900台（同 132.7%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、6,103台（同 15.4%増）と、4か月ぶりに前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、35,535台（同 1.1%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、20,392台（同 7.6%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、42,554台（同 12.0%増）と、4か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>1月の自動車国内生産台数は、732,092台（前年同月比 3.8%減）と、15か月ぶりに前年実績を下回った。なお、輸出は334,167台（同 5.7%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が2か月ぶり、トラックが4か月ぶり、全体では15か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>1月の冷蔵庫の国内出荷額は239億円（前年同月比 4.2%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回り、国内出荷台数は226千台（同 1.0%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>1月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは515千台（同 0.9%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。業務用は59千台（同 3.7%増）と、10か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>12月の携帯電話の国内出荷台数は、1,754千台（同 6.2%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。うち、スマートフォンは、1,275千台（同 25.6%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。単月のスマートフォン比率は72.7%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>1月の工作機械の受注総額は、1,543億9,100万円（前年同月比 48.8%増）と、14か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は987億8,300万円（同 49.7%増）と、14か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが516億7,200万円（同 58.0%増）と、14か月連続で前年実績を上回った。内需は556億800万円（同 47.3%増）と、12か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>県内中小企業からは、「中国関係の受注及び売上にこれまでの状況から少し一服感が出てきている」という声や「受注環境は良好ながら、収益性への反映は今一步の感がある」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>1月の県内楽器メーカーの販売金額は、43億3,600万円（前年同月比 13.6%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが21億8,500万円（同 2.1%減）、国内向けが21億5,100万円（同 22.9%減）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,422台（同 9.3%減）であった。機種別では、アップライトピアノが1,602台（同 12.6%減）、グランドピアノが820台（同 1.9%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,769台（同 5.0増）、国内向けが1,109台（同 25.3%減）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>1月の紙・板紙の国内出荷高は、1,885千トン（前年同月比 1.6%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は1,046千トン（同 3.3%減）と、8か月連続で前年実績を下回った。板紙は840千トン（同 0.6%増）と、15か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、562千トン（同 5.8%減）と、8か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、145千トン（同 8.1%増）と、5か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>1月の県内生産量は、食缶類が国内向け806千箱（前年同月比 2.4%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は563千箱（同 4.2%減）と2か月ぶりに前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は424千箱（同 0.1%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は243千箱（同 2.0%増）と、7か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが4,694千箱（同 4.9%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>1月の広幅織物の県内生産は、1,515千㎡（前年同月比 3.1%減）と、15か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,463千㎡（同 3.7%減）と、15か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、52千㎡（同 18.8%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、32千㎡（同 3.8%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>1月の全国百貨店での家具販売額は、48億2,562万円（前年同月比 3.7%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、604億5,768万円（同 3.7%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>1月の県内百貨店・スーパーの販売額は、36,380百万円（既存店前年同月比0.9%減）と、前年実績を下回った。品目別に見ると、「その他の商品」は前年実績を上回ったものの、「衣料品」、「身の回り品」、「飲食料品」、「家庭用品」、「食堂・喫茶」は前年実績を下回った。</p> <p>県内の百貨店への聞き取りによると、初売りの福袋の手配量が減少したこと等により、セール期間中の客単価が伸びていなかった。また、県内の食品スーパー・総合スーパーへの聞き取りによると、天候不順により、野菜の相場が高騰していた。</p> <p>1月の東部地域の商店街では、市内の美術館における刀剣展の開催に合わせて、オリジナル菓子が開発、販売され、刀剣ファンの間で話題となり、週末を中心に売り切れるほどの評判の品となっていた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>1月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約29万人で、前年同月比0.2%減と、概ね前年度並みとなった。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約64万台で、前年同月比5.7%減だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
完成車生産台数(台)	19,492	17,298	14,990	16,110	14,890	16,922	16,792	13,704	13,173
前年同月比(%)	16.0	4.9	▲ 10.9	20.0	7.8	▲ 15.8	▲ 30.8	▲ 30.9	▲ 31.3
KD輸出額(百万円)	635	714	772	575	496	603	606	531	539
前年同月比(%)	18.7	▲ 6.1	14.0	▲ 24.6	▲ 26.2	4.4	▲ 15.7	▲ 25.8	▲ 24.3

<楽 器>

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
生産総額(百万円)	3,554	3,731	3,355	2,933	3,078	3,305	3,334	3,298	2,534
前年同月比(%)	5.3	▲ 10.2	▲ 12.1	▲ 11.4	▲ 20.1	▲ 10.6	▲ 8.3	0.1	▲ 17.8

<缶詰>

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
食缶生産高(千ケース)	888	999	966	976	965	967	992	894	806
前年同月比(%)	▲ 12.2	▲ 9.3	▲ 5.4	▲ 0.1	▲ 9.3	▲ 5.0	2.3	9.6	▲ 2.4
うち水産缶詰(%)	▲ 8.4	▲ 11.4	▲ 11.5	▲ 13.0	▲ 14.3	▲ 8.6	▲ 0.8	7.7	▲ 4.2
農畜産缶詰(%)	▲ 21.7	▲ 3.9	11.6	42.4	6.2	5.2	10.9	14.3	2.0
飲料缶生産高(千ケース)	8,392	7,969	8,384	7,648	6,297	5,945	6,345	5,513	4,694
前年同月比(%)	0.4	3.3	▲ 1.1	3.0	▲ 11.9	▲ 9.4	▲ 4.5	▲ 7.9	▲ 4.9

<織 維>

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
広幅織物(千㎡)	1,170	1,137	1,120	1,110	1,411	1,493	1,679	1,589	1,515
前年同月比(%)	▲ 2.8	▲ 4.9	▲ 1.2	▲ 2.2	▲ 3.3	▲ 1.9	▲ 0.8	▲ 6.2	▲ 3.1
小幅織物(千㎡)	32	29	27	25	31	32	32	33	32
前年同月比(%)	▲ 2.8	▲ 3.3	▲ 0.7	▲ 6.0	3.5	2.5	▲ 0.6	▲ 1.1	▲ 3.8

<観 光>

	29年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月
観光施設(10施設)入込 (千人)	638	366	334	563	391	331	374	251	287
前年同月比(%)	2.7	10.8	▲ 7.9	2.0	6.2	▲ 23.3	7.2	▲ 10.2	▲ 0.2
有料道路(5路線)通行量 (千台)	759	670	774	883	704	670	735	725	639
前年同月比(%)	3.6	3.1	2.5	2.4	3.9	▲ 5.7	4.8	▲ 2.2	▲ 5.7

<特集>平成29年の静岡県経済を振り返って

1 平成29年の概況

“個人消費の一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある静岡県経済”

平成29年の静岡県経済は、新設住宅着工戸数など個人消費の一部に弱さがみられるものの、好調な輸出や生産の持ち直しの動きを背景に緩やかに回復しつつある。

雇用は、改善の動きが続いている。

2 主要経済指標の動向

消費の動向

◎個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

平成29年の個人消費の動向をみると、大型小売店販売額、新設住宅着工戸数は、いずれも年間を通して概ね前年を下回って推移し、年間合計でも前年を下回った。専門量販店等販売額は、2月を除き前年を上回って推移し、年間合計でも前年を上回った。自動車(新車)新規登録台数は、10月以降、前年を下回って推移したものの、年間合計では前年を上回った。大型小売店販売額、新設住宅着工戸数で弱さがみられるものの、個人消費は、緩やかに持ち直している。

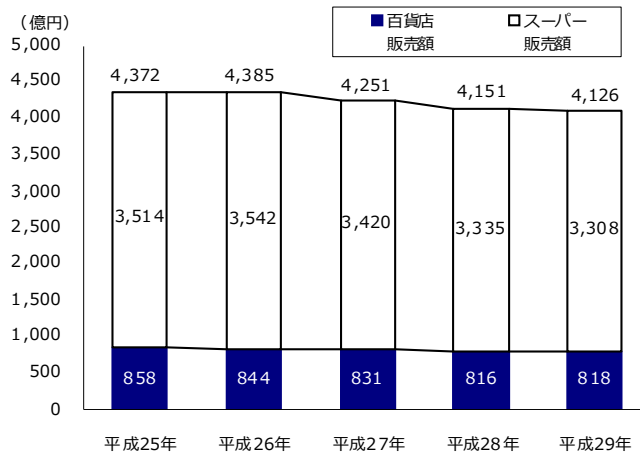
(大型小売店販売額)

大型小売店販売額は、百貨店(前年比0.3%増)で増加したものの、スーパー(同0.8%減)で減少したことから、全体では4,126億円(同0.6%減)と、3年連続で減少した。

(自動車(新車)新規登録台数)

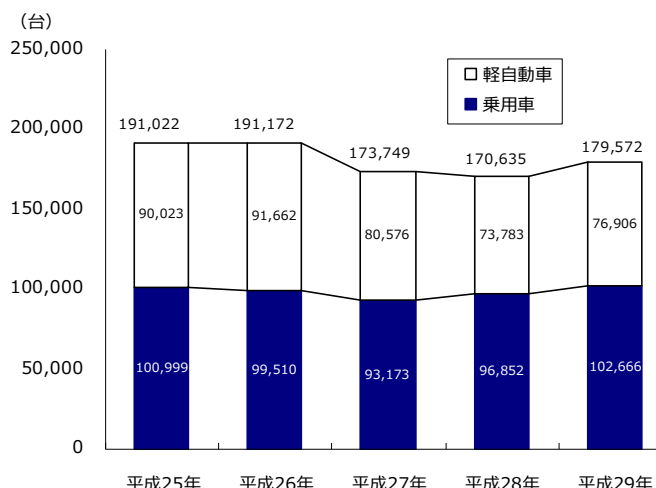
自動車(新車)新規登録台数は、乗用車(前年比6.0%増)で2年連続、軽自動車(同4.2%増)で3年ぶりに増加したことから、全乗用車でも179,572台(同5.2%増)と、3年ぶりに増加した。

○大型小売店販売額の推移



<資料>経済産業省

○自動車(新車)登録台数の推移



<資料>県税務課

(新設住宅着工戸数)

新設住宅着工戸数は、前年を下回った。

持家（前年比 2.3%減）で2年連続、貸家（同 12.3%減）で2年ぶり、分譲住宅（同 5.2%減）で3年ぶりに減少したことから、合計では、23,377戸（同 6.3%減）と、2年ぶりに減少した。

投資の動向

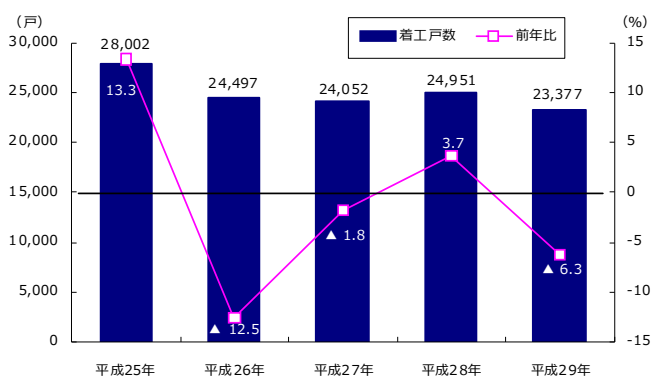
◎公共投資は前年を上回った。

公共投資は、請負件数は7,671件（前年比 2.2%増）と、5年ぶりに増加し、請負金額は2,921億円（前年比 4.0%増）と、2年連続で増加した。

◎設備投資は持ち直している。

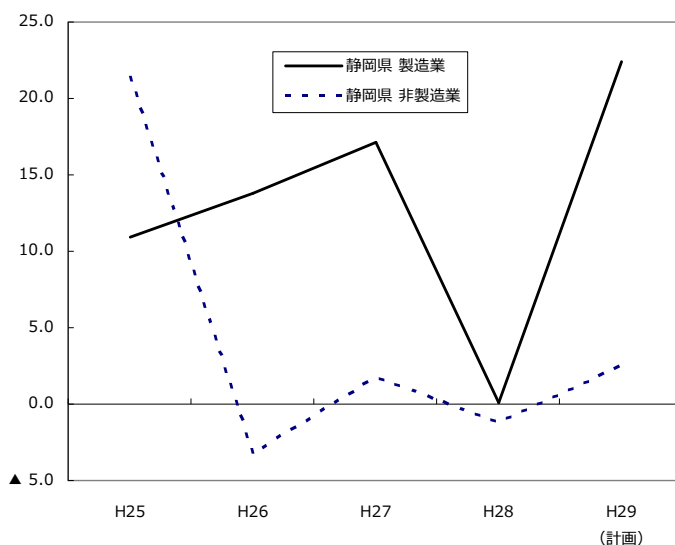
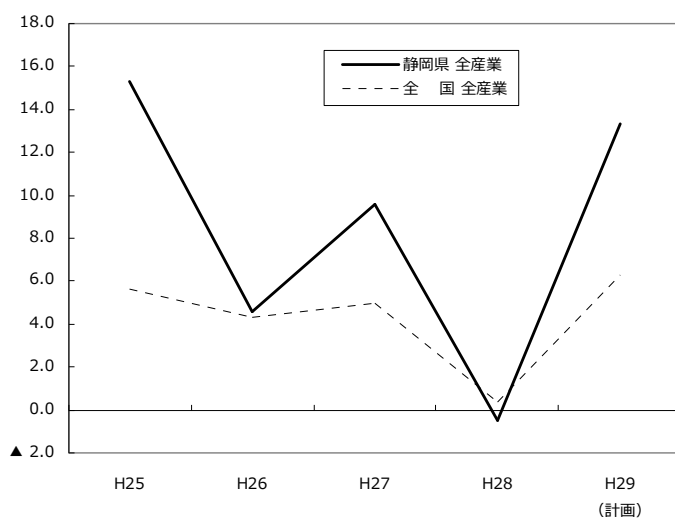
設備投資は、能力増強投資のほか、生産性向上関連や研究開発関連の投資がみられるなど、製造業を中心に一段と増加している。なお、平成29年度（計画）は、製造業、非製造業ともに増加する計画となっており、全産業でも2年ぶりに増加し、全国を上回る計画となっている（平成29年12月調査時点）。

○新設住宅着工戸数の推移



<資料> 県住まいづくり課

○企業短期経済観測調査結果の推移



<資料> 日本銀行静岡支店

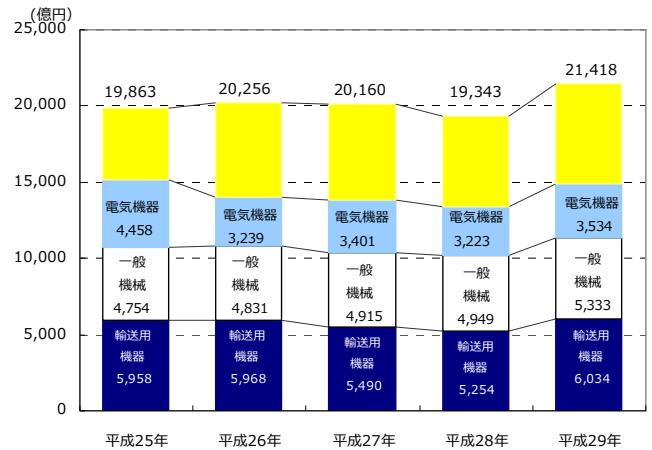
輸出入の動向

◎輸出は、増加している。

輸出は、年間を通して前年を上回って推移し、輸出額は2兆1,418億円（前年比 10.7%増）と、平成21年以降では最高額となった。また、品目別では、自動車や二輪自動車類の好調が続いた輸送用機器をはじめ、一般機械や電気機器も前年を上回った。

輸入は、3月以降、前年を上回って推移し、輸入額は9,929億円（前年比 9.5%増）と、3年ぶりに増加した。

●輸出額の推移



<資料>名古屋税関清水支署

生産の動向

◎生産は、持ち直しつつある。

平成29年の生産の動向をみると、年間を通して前年を上回って推移し、増加傾向が続いた。

(鉱工業生産指数)

鉱工業生産指数（季節調整済指数）は、93.9、原指数は93.7（前年比 4.7%増）と、いずれも100を下回ったものの、3年ぶりに前年を上回った。

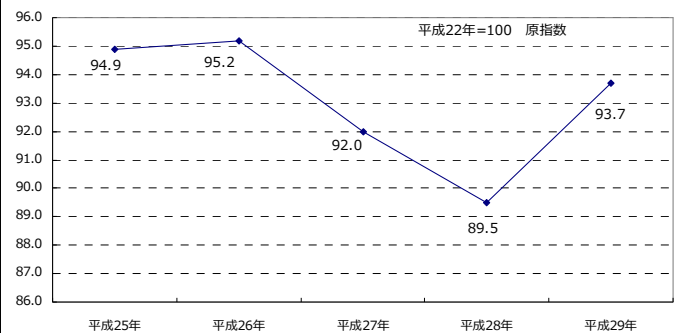
業種別では、はん用・生産用・業務用機械（前年比 3.0%減）、パルプ・紙・紙加工品（同 0.2%減）、食料品・たばこ（同 3.7%減）が前年を下回ったものの、電気機械（同 4.1%増）、輸送機械（同 14.1%増）、化学（同 5.5%増）が前年を上回った。

(鉱工業在庫指数)

鉱工業在庫指数は、季節調整済指数、原指数のいずれも115.3（前年比 0.7%増）と、4年連続で前年を上回った。

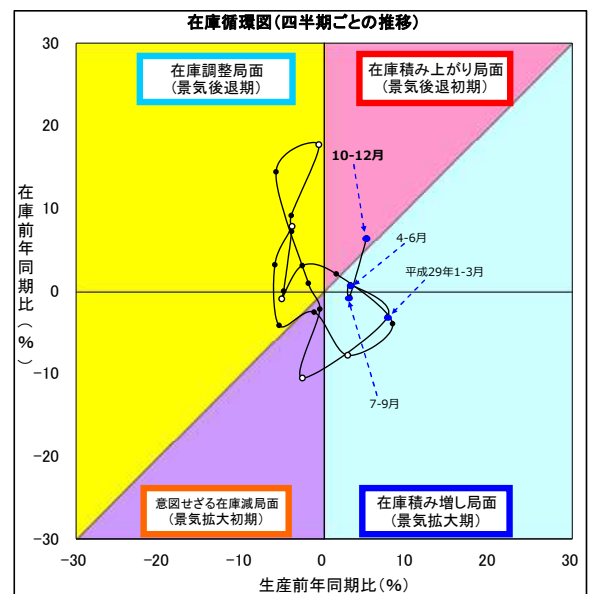
なお、在庫循環図でみると、「在庫積み上がり局面（景気後退初期）」に位置しており、生産は前年に比べ増加しているものの、秋以降、在庫も増加傾向で推移した。

●鉱工業生産指数の推移（原指数）



<資料>県統計調査課

●在庫循環図



<資料>県統計調査課

雇用の動向

◎雇用は、改善の動きが続いている。

平成29年の雇用の動向をみると、有効求人倍率は、4月以降、常に1.50倍を上回る高水準で推移し、改善の動きが続く中で、12月には1.61倍となった。また、3月以降は10か月連続で全国値を上回って推移した。

(有効求人倍率)

有効求人倍率は、年間を通して前月を上回って推移し、12月には1.61倍となった。また、平成29年の年間有効求人倍率は1.53倍（前年比 0.19ポイント増）と、8年連続で上昇し、9年ぶりに全国値を上回った。

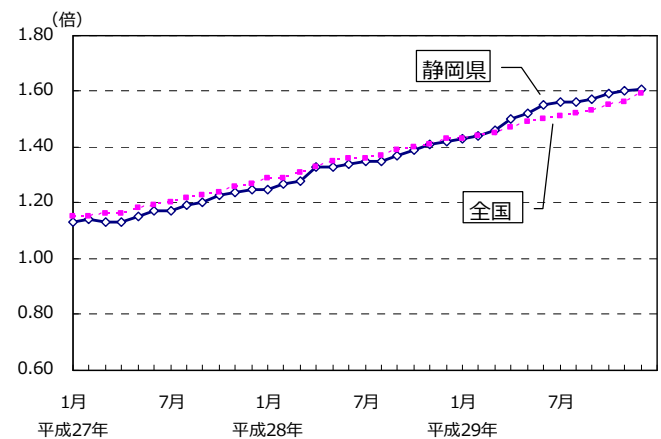
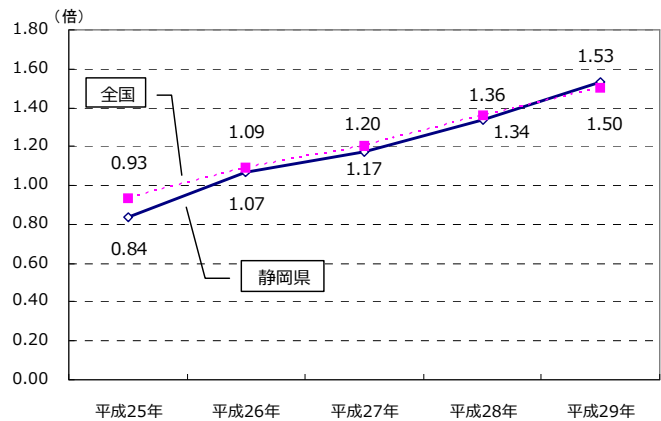
(雇用保険受給者実人員)

雇用保険受給者実人員は、年間を通して前年を下回って推移し、12月時点で前年に比べて16,306人、11.2%の減少となった。

(所定外労働時間指数)

所定外労働時間指数は、前年を上回る月が多かったものの、概ね横ばいで推移したことから、調査産業全体の平均は、103.2（前年比 7.2%減）と、5年ぶりに前年を下回った。

●有効求人倍率の推移（年別、月別）



<資料>厚生労働省

その他

【物価】

国内企業物価指数（平成27年＝100）は、年間を通して前年を上回って推移したことから、平成29年平均は98.7（前年比 2.3%増）となり、前年を2.2ポイント上回った。

【金融】

県内金融機関の貸出残高は、年間を通して前年を上回って推移し、12月末時点の貸出残高は14兆1,576億円（前年同月比 1.8%増）と、前年を2,477億円上回った。

県信用保証協会の保証承諾件数は22,269件（前年比 9.6%減）、金額は2,177億円（同 9.6%減）と、いずれも減少した。

【為替】

円相場（対ドル平均）は、1月の114円73銭から夏にかけて円高が進み、8月には109円91銭となった。9月以降は円安傾向となり、12月には112円97銭となった。

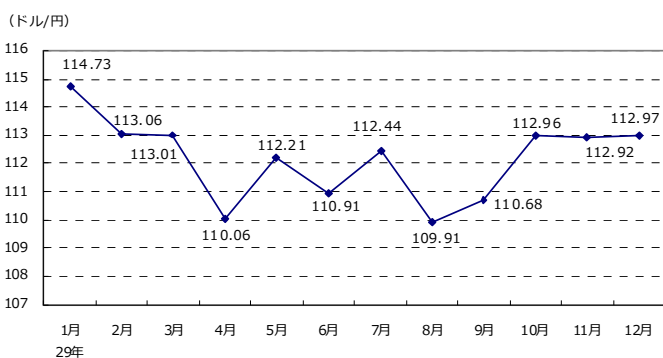
平成29年平均は112円16銭で、前年と比べて3円32銭の円安となった。

【企業倒産】

負債総額1,000万円以上の企業倒産件数は259件（前年比 11.6%減）となり、前年より34件減少した。負債総額は482億円（同 2.9%増）と、2年ぶりに増加した。

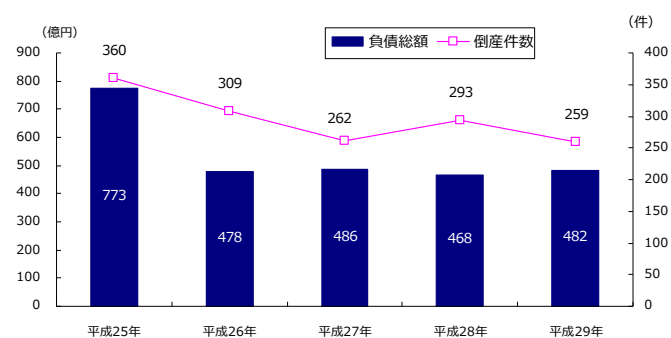
なお、既往のシワ寄せ、販売不振、売掛金等回収難を原因とするいわゆる「不況型倒産」は237件（同 11.9%減）となり、全件数の91.5%を占めた。

●円相場の推移



<資料>日本銀行 東京為替相場

●企業倒産の動向



<資料>㈱東京商工リサーチ静岡支店

平成29年の静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>平成29年の国内二輪車生産台数は、646,983台（前年比 15.4%増）と、2年連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは357,484台（同 5.6%増）と、4年ぶりに前年実績を上回った。輸出向けは464,493台（同 8.2%増）と、2年連続で前年実績を上回った。</p> <p>こうした状況の中、二輪車の将来を考える官民一体の会議として、平成25年9月に立ち上げた「バイク・ラブ・フォーラム（略称B L F）」が、平成29年9月に第5回目の会議を群馬県前橋市で開催し、「三ない運動から群馬県交通安全条例に向けた取り組み」及び「高校生などに対する交通安全教育の推進」について議論した。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自動車	<p>平成29年の自動車国内生産台数は、乗用車、トラック、いずれも前年実績を上回ったことから、全体でも9,690,674台（前年比 5.3%増）と、3年ぶりに前年実績を上回った。なお、輸出は、4,705,848台（同 1.5%増）と、3年連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>平成29年の冷蔵庫の国内出荷台数は、3,872千台（前年比 1.5%増）と、2年連続で前年実績を上回った。</p> <p>平成29年のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは8,924千台（同 6.9%増）と、2年連続で前年実績を上回った。業務用は820千台（同 3.2%増）と、3年ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>冷蔵庫、エアコン共に、空梅雨や猛暑の影響により前年実績を上回った。</p> <p>平成29年の携帯電話の国内出荷台数は、17,996千台（同 5.6%増）と、2年ぶりに前年実績を上回った。そのうち、スマートフォンは、買い替え需要が高まったことで、12,239千台（同 26.7%増）と、単年のスマートフォン比率は68.0%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、 J E I T A / C I A J、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
生産用機械	<p>平成29年の工作機械の受注総額は、1兆6,455億5,400万円（前年比 31.6%増）と、3年ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は1兆161億8,500万円（同 41.2%増）と、3年ぶりに前年実績を上回った。アジア向けが5,140億200万円（同 79.1%増）、欧州向けが2,137億1,600万円（同 19.1%増）、北米向けが2,696億6,000万円（同 13.7%増）と、主要な地域でいずれも前年実績を上回った。</p> <p>また、内需は6,293億6,900万円（同 18.6%増）と、2年ぶりに前年実績を上回った。特に、一般機械が2,591億4,400万円（同 25.1%増）と、2年ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>半導体関連装置、自動車関連設備、中国向けリチウムイオン電池の受注増加に加え、ITやロボットを活用した生産効率化設備が堅調に推移した。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>
楽 器	<p>平成29年の県内楽器メーカーの販売金額は、609億100万円（前年比 4.3%減）で、内訳は輸出向けが316億1,400万円（同 2.7%減）、国内向けが292億8,600万円（同 6.0%減）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は34,590台（同 3.9%減）と、前年の増加から減少に転じ、2年ぶりに前年実績を下回った。機種別では、アップライトピアノが23,514台（同 2.5%減）、グランドピアノが11,076台（同 6.9%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが24,673台（同 0.8%増）、国内向けが14,036台（同 5.9%減）であった。</p> <p>県内の楽器生産について、静岡県楽器製造協会は「海外生産が進み、輸出が国内生産品から海外生産品にシフトしている」とみている。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>平成29年の紙・板紙の国内出荷高は、24,887千ト（前年比 0.2%減）と、4年連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳は、紙が13,503千ト（同 1.9%減）と、4年連続で前年実績を下回り、板紙は11,384千ト（同 1.9%増）と、2年連続で前年実績を上回った。板紙は、ネット販売やインバウンドによる需要の増加から、堅調に推移した。</p> <p>品種別では、ティシュペーパーやトイレットペーパー等の家庭紙は、1,792千ト（同 0.8%減）と、2年ぶりに前年実績を下回った。生活必需品としての底堅い需要があるが、輸入紙の増加が影響したものと考えられる。印刷・情報用紙は7,467千ト（同 2.0%減）と、4年連続で前年実績を下回った。電子化の進行などの影響で、印刷用紙、情報用紙ともに不振が続いている。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会</p>

業 種	産 業 動 向
缶詰・飲料	<p>平成29年の県内生産量は、食缶類が国内向け11,300千箱（前年比 3.0%減）と、3年ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は7,935千箱（同 6.4%減）、うち主力であるツナ缶も5,917千箱（同 5.2%減）と、3年ぶりに前年実績を下回った。農畜産缶（国内向け）は3,365千箱（同 6.3%増）と、2年連続で前年実績を上回った。飲料缶類は、国内向けが81,955千箱（同 1.1%減）と、6年連続で前年実績を下回った。</p> <p>魚価の高騰等により、水産缶の生産量は減少傾向にあるものの、業界では、積極的なPRによる需要の開拓や、新商品の開発等に取り組んでいる。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
織 維	<p>平成29年の広幅織物の県内生産は、16,311千㎡（前年比 4.4%減）であった。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、15,694千㎡（同 4.4%減）で、別珍・コールテンの生産は、617千㎡（同 4.2%減）であった。</p> <p>小幅織物の県内生産は、377千㎡（同 2.8%減）であった。</p> <p>産地では、機屋の廃業が続いており、生産量が減少傾向にある。このため、業界としては、組合を中心に引き続き、国内外の各種展示会への出展による新規需要・販路開拓を図っている。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>平成29年の全国百貨店での家具販売額は、624億7,268万円（前年比 5.8%減）と、4年連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、6,669億8,383万円（同 0.8%増）と、5年連続で前年実績を上回った。</p> <p>こうした中、県内の業界では住宅産業と組み、利益率の高いオーダー家具に注力する企業の増加や、家具メーカーが静岡家具への関心を高めてもらうためのスタンプラリー「シズオカ家具week!」を初めて開催した。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、日本経済新聞社、地域産業課</p>
小売業	<p>平成29年の県内百貨店売上高は、758億円（前年比 0.4%増）と、前年実績を上回った。商品別にみると、株高に伴う富裕層の活発な消費により、化粧品、美術・宝飾・貴金属の販売が好調だった。食料品の販売については、物産展の開催がプラスに働いたほか、プレミアムフライデーに合わせて、飲食店や食料品店で特別メニューを提供する試み等が各店で実施されていた。また、静岡市内の専門店が相次いだリニューアルによる来街者数の増加が、同市内百貨店の来店客数の増加につながっていた。</p> <p>県内の総合スーパーでは、低い気温により、春には衣料品等初夏の商材が、夏にはアイス、水着等夏物商材の売上が低迷した。食品スーパーでは、年間を通して、不漁による鮮魚の相場高が売上に影響を与えたほか、酒税法改正後にビール等の売上が前年同月に比べて減少している店舗があった。また、近年、従業員の不足等から、セミセルフレジ・電子決済対応端末の導入、人材派遣サービスの活用を進める動きがみられている。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>平成29年の県内主要10観光施設の合計入込客数は、約479万人で、前年比 1.1%減と、前年を下回った。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両は、約876万台で、前年比 1.9%増と、前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
平成30年3月号 通巻503号

発行 静岡県経済産業部
平成30年3月

編集 経済産業部管理局政策監
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>